

近畿中央呼吸器センターに受診中の患者様へ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在近畿中央呼吸器センターでは、下記の臨床研究を実施しております。
この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。
研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名 「非小細胞肺癌における術前胸部 CT 画像の肺野低吸収域容量と術後再発の関連：単施設後ろ向きコホート研究」

●研究の目的と意義

近年、癌の発生や進行のメカニズムに関する研究が積極的に行われる中で、慢性炎症と癌の関連が重要なトピックの一つとなっています。わが国の部位別癌死亡数の第 1 位である肺癌においても、慢性炎症がその進展に寄与していることが明らかになってきています。

肺で生じる慢性炎症変化の 1 つとして肺気腫が知られています。肺癌手術を受けられた患者様の肺気腫の程度を胸部 CT 画像の肺野低吸収域容量として数値化し、術後再発との関連を調べることで、この数値が術後再発リスクを予測する新しい指標となる可能性があるのかを評価します。得られた知見は肺癌患者様の今後の診療にとって有用な情報になると考えられます。

本研究は、肺癌に対して手術を受けられた患者様を対象として、診療情報（画像検査データを含む）や切除された癌組織の病理情報を収集・解析することで、肺野の気腫性変化と術後再発との関連性を明らかにすることを目的としています。

●対象となる患者様

2017 年 1 月から 2021 年 12 月の間、当院で肺癌手術を受けられた患者様。

●使用させていただく診療データ

- ・性別、年齢、喫煙、血液検査結果、画像検査結果、Stage、術式、組織型、癌組織の遺伝子変異の有無、術後補助化学療法実施の有無、切除したリンパ節の個数などの患者様のデータ
- ・手術後の診療経過、再発確定日、死亡日

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。情報は研究代表者をはじめとした当院の共同研究者のみで共有します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者様が診療上不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

※本研究はヘルシンキ宣言に基づいた倫理原則を順守し、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 4 年 3 月 10 日一部改正、文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示）」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス（令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」に従って実施しております。

●問い合わせ先

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 外科 鮫島 弘睦
住所：大阪府堺市北区長曾根町 1180 電話：072-252-3021（代表）